

増加する空き地の現状について

概要

- ・2008年から2018年にかけて世帯保有の空き地が約2倍に増加
- ・人口減少等に伴い新たな土地需要が減少していることが主な要因の一つ
- ・これを踏まえた空き家所有者の年齢、空き地の取得理由、売却意向など分析し、空き地を流通させる取組の一つである「隣地取得制度」の事例を報告

結果

- ・空き地率は、人口減少が進む地方部で高い(図1)
- ・空き家所有者のうち約6割が65歳以上であり、65歳以上の所有者が持つ空き家面積が大きく増加(図2)
- ・約半数の空き地所有者が手放したいと考えているが、遠方に空き地を所有する場合など十分に活用できない空き地が多い
- ・神戸市、米沢市では隣接する土地を統合して利用する場合の補助制度を運用

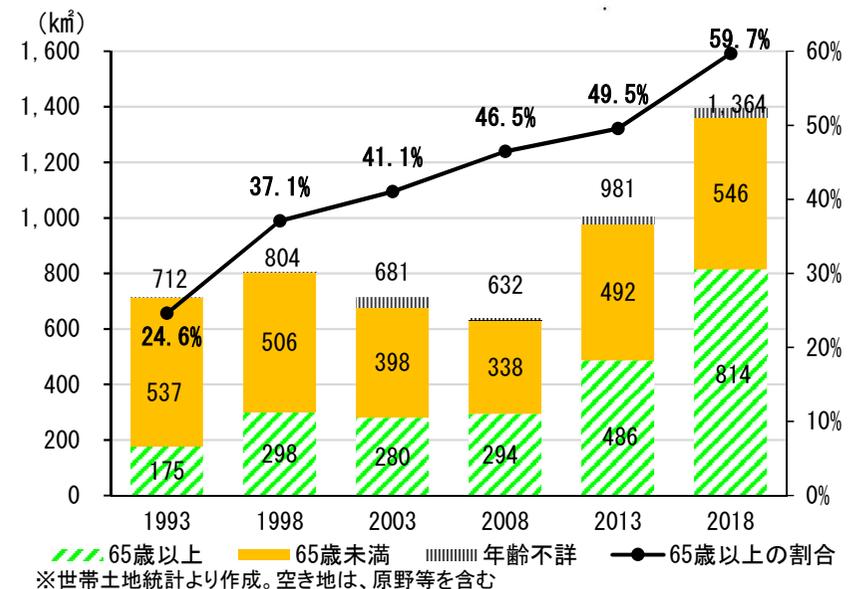
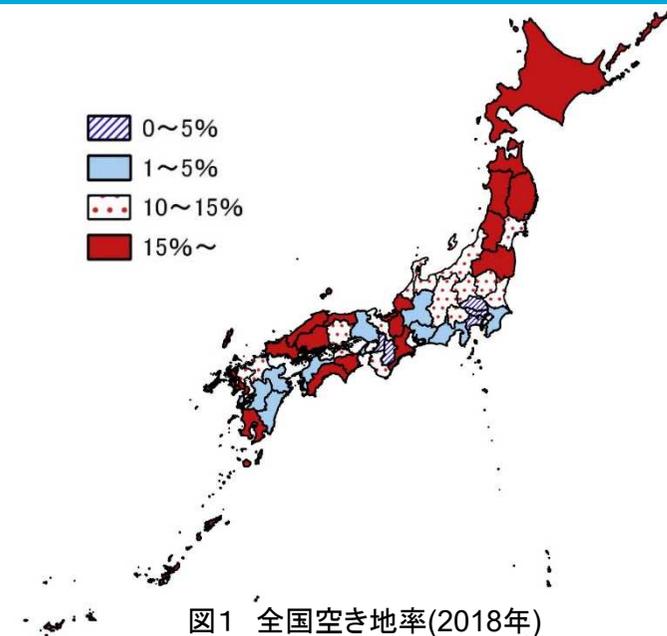


図2 年齢別空き地の所有面積の推移、平均年齢